
散るチル満ちる

Y.Y

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

散るチル満ちる

【著者名】

Y・Y

N6389E

【あらすじ】

森の中の一本の『散る散る』と、その森で大きくて一つだけの『満ちる』。樹と川の、小さな物語。

『散る散る』はいつも手に立っている。

突つ立つて、一生懸命に腕を伸ばして

他の仲間達と同じく

一所懸命に手に生きていた。

そんな『散る散る』にも、長い時を共にした友達がいる。

名を『満ちる』といつ。

『満ちる』はいつも手に存在して

広く深く、体をいっぱい広げて

全てを受け止め、全てに分け『えていた。

だけど『満ちる』には同じような仲間がいなかった。

「淋しくないの？」

彼女の一番近くにいる『散る散る』が言った。

「淋しくなんかないわ

『満ちる』は穏やかに言った。

だつて私はたくさんいて

あなたたちと共にずっと在り続けているもの。

それに雨が降れば

たくさんの『私』が帰つてき

私の中に

たくさんの思い出が胸に甦るから。

「だから淋しくなんかないわ」

『満ちる』は穏やかに言つた。

「それじゃあ僕の中にも

「君はいるんだね」

『散る散る』は言つた。

ざわざわ

風が吹いてきた。

『散る散る』が揺れる。

『満ちる』も揺れる。

「セツル

「あなたの中にも私はこるの」

『満ちる』は嬉しそうに言つた。

「みんなにもこるの

『満ちる』は喜びに言つた。

「じゃあ君が僕を生かしてくれているんだね」

『散る散る』のひとつが『満ちる』の上に落ちて

『満ちる』の顔を揺らがせた。

「みんなを生かしてくれているんだね」

『満ちる』に『散る散る』が映りこむ。

「ありがとつ

「ありがとつ

「僕たちの命を育ってくれて

「私を必要としてくれて」

『散る散る』は彼女が大好きになった。

『満ちる』も彼が大好きになつた。

それから

たくさんの時が流れた。

それから

たくさんの仲間が消えていった。

『散る散る』だけが

突つ立つていた。

『満ちる』だけが

彼と共にいた。

「ずいぶん変わっちゃつたね」

『散る散る』が言った。

周りは皆

切り株だらけになつっていた。

「あなたは変わらないわ」

『満ひる』『みひる』が言った。

「だつて私がいるもの」

山は畠

はげ山と化していた。

一人だけ残つた。

「そうだね」

「君がいるんだもの」

『散る散る』は嬉しそうに言った。

「僕はずつと君と一緒にだ」

遠くで

風とは違つ

音が聞こえる。

「私はずっとあなたと一緒にね」

畠はげ山と

近づいてくる。

「幸せだね

耳障りな音が

何かを削つている。

「幸せ」

木屑が

飛び散つていく

「『散る散る』・・・」

「『満ちる』・・・」

しばらくして

『散る散る』の一つとは違つものが

『満ちる』を搖るがせた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6389e/>

散るチル満ちる

2011年1月13日17時46分発行